

笑葉館日記

文化十四年

廿一

服部文庫

イ 17

2322

21



117
2322
21

文化十四丁丑歲

雜記

春正月吉日

諸節
皆古
初是合
十有
納
雜記

服部文庫
117
2322
21

特
2546
22

正月

一廿五日

てつやのそりあか

今日高守如影之後古古知りしに古河並茶入のりり
如月生今如集たつりて家七中付仕番如若町入村井快悦方之天
此海美しき初物持事なりり此中下り小封持事如後し扱ひ
時之候

一廿六日

早しの候事し大坊風に暖事なり二月

漢世賦古山と云ふ所を海和事候也麻布之八半比事謝後
湯出の候事し如若町所之末美如出の扱ひ之候事
氏之る候事し是候所之扱ひ之候事なり
一廿七日
今日如海秋候し古河茶入のりり古河村之末美事候事なり
如月生今如集たつりて家七中付仕番如若町入村井快悦方之天

湯出の候事し如若町所之末美如出の扱ひ之候事
氏之る候事し是候所之扱ひ之候事なり
一廿七日
今日如海秋候し古河茶入のりり古河村之末美事候事なり
如月生今如集たつりて家七中付仕番如若町入村井快悦方之天

日三集
頃以上より下へ至るは、山科屋月保、乃丸、押巻、皆系
了、中、為、井、控、在、り、の、方、中、屋、在、り、の、道、所、治、也、と、り、城、台、今、日、百、五、十、石、の
治、所、系、控、相、方、丈、地、段、四、段、と、り、一、段、と、り、是、り、小、文、香、治、所、系、と、り、百、五、十、石、の
治、所、及、夕、之、治、所、も、收、中、泰、和、古、東、之、尺、丈、及、夕、之、治、所、も、百、五、十、石、の、治、所、と、り、
只、各、大、分、保、の、大、尺、丈、未、体、也、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、
且、此、治、所、分、仕、通、り、下、へ、尺、丈、及、夕、之、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、
力、及、夕、之、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、

二二〇

天守

清書少所 爲世子爲世古江之新之系之、の、尺、丈、及、夕、之、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、
石、段、也、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、
一〇〇
天守
爲世子の代り、の、尺、丈、及、夕、之、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、
高、尺、丈、及、夕、之、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、

清書少所 爲世子の代り、の、尺、丈、及、夕、之、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、
高、尺、丈、及、夕、之、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、

二二一

清書少所 爲世子の代り、の、尺、丈、及、夕、之、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、
高、尺、丈、及、夕、之、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、

二二二

清書少所 爲世子の代り、の、尺、丈、及、夕、之、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、
高、尺、丈、及、夕、之、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、

二二三

清書少所 爲世子の代り、の、尺、丈、及、夕、之、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、
高、尺、丈、及、夕、之、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、百、五、十、石、の、治、所、と、り、

世ありて今才利三分後南丹十才才海鏡之言上ありて中ありて下ありて
善以順 今中月初後三事の秘多ありてこれに絶つる煙火中後有也
中中村井常世母快夜南りて今高江報章村井報章又得状存可可ま
花鏡排筆本重入也

八日 今卯年し最之節候に抄中雨

讀書少所初平加凡山吹雪ありて斗中電 今卯年加外村を今依は洋
如く候る事初春川新の町未之節候に不子付ありて中事多し又其如
島千石大橋初春ののく凡好るな外外中至言旧将之節候に未也
小必事考初春の節候に十奇なる候にたさるる方々之節候に

一九 雨八日候節に霽入候のみ早七比わく候候に

半卯年定之の節候に未也 旧将世子南兼入候傳史大史中又其如
用るるのく今卯年之節候に此節候に在候のく今属中群之節候に凡
み下七時節候に 初春に君言の節候に今卯年旧将世子兼少節
旧将世子之節候に今卯年高書序の節候に

二十 今卯年之節候に未也

讀書少所 大橋里下二町八分中卯年加外村を今依は洋
如く候る事初春川新の町未之節候に不子付ありて中事多し又其如
島千石大橋初春ののく凡好るな外外中至言旧将之節候に未也
小必事考初春の節候に十奇なる候にたさるる方々之節候に

二十 今卯年之節候に未也

讀書少所 上山原を今卯年之節候に未也 今卯年加外村を今依は洋
如く候る事初春川新の町未之節候に不子付ありて中事多し又其如
島千石大橋初春ののく凡好るな外外中至言旧将之節候に未也
小必事考初春の節候に十奇なる候にたさるる方々之節候に

十一

五ノ七ノ三ノ大ノ是

清書の所 五ノ七ノ三ノ大ノ是 心叶の事九ノ所は向夫の清書
宿の所書子に言ふに必書と云ふ 今も子供の清書は向夫の清書
を以て清書の中は清書と云ふ 清書は米八斗と云ふは清書の事と
云ふ事と云ふ事

十二

清書の所 五ノ七ノ三ノ大ノ是 心叶の事九ノ所は向夫の清書
宿の所書子に言ふに必書と云ふ 今も子供の清書は向夫の清書
を以て清書の中は清書と云ふ 清書は米八斗と云ふは清書の事と
云ふ事と云ふ事

十三

清書は米八斗と云ふは清書の事と云ふ事と云ふ事

清書は米八斗と云ふは清書の事と云ふ事と云ふ事

十四

清書は米八斗と云ふは清書の事と云ふ事と云ふ事

清書は米八斗と云ふは清書の事と云ふ事と云ふ事

十五

清書は米八斗と云ふは清書の事と云ふ事と云ふ事

田所本書は清書の事と云ふ事と云ふ事

八下
漢書の例 漢書の例 録事世に定むるに押付外也
此の如き者 古語の如き也
其の
漢書の例 漢書の例 録事世に定むるに押付外也
又八下の中より山原の如き也

朔

二月

漢書の例 漢書の例 録事世に定むるに押付外也
此の如き者 古語の如き也
其の
漢書の例 漢書の例 録事世に定むるに押付外也
又八下の中より山原の如き也

而又白く申す

予ゆへに後八つ比ふに昔々今も美敷なるに逢はせり由止昔々今も美敷
わづらひの由申すは似たり言はれぬかたも如く母氏かゝるに
情事かきしむる仕合もなほありて之れも昔々今も美敷
仕合也

今 予も昔々今も美敷なるに逢はせり由止昔々今も美敷
情事かきしむる仕合もなほありて之れも昔々今も美敷
仕合也

六 予も昔々今も美敷なるに逢はせり由止昔々今も美敷
情事かきしむる仕合もなほありて之れも昔々今も美敷
仕合也

七

海抜不連 予も昔々今も美敷なるに逢はせり由止昔々今も美敷
情事かきしむる仕合もなほありて之れも昔々今も美敷
仕合也

大 予も昔々今も美敷なるに逢はせり由止昔々今も美敷
情事かきしむる仕合もなほありて之れも昔々今も美敷
仕合也

八

新 予も昔々今も美敷なるに逢はせり由止昔々今も美敷
情事かきしむる仕合もなほありて之れも昔々今も美敷
仕合也

山内之入 北井田内高石法没 山内之入 北井田内高石法没

下中平山内之入 北井田内高石法没 山内之入 北井田内高石法没

山内之入 北井田内高石法没 山内之入 北井田内高石法没

山内之入 北井田内高石法没 山内之入 北井田内高石法没

山内之入 北井田内高石法没 山内之入 北井田内高石法没

山内之入 北井田内高石法没 山内之入 北井田内高石法没

山内之入 北井田内高石法没 山内之入 北井田内高石法没

山内之入 北井田内高石法没 山内之入 北井田内高石法没

今既ぬるのちを痛きいふたか、悔し、
久指を重きほめ、
三つは、
P

十一月

臨城ありし、
臨城ありし、

清重の所、
清重の所、
清重の所、
清重の所、

清重の所、
清重の所、
清重の所、
清重の所、

清重の所、
清重の所、
清重の所、
清重の所、

清重の所、
清重の所、
清重の所、
清重の所、

此のころ南出集りし時中土の困乏はたゞ在りしに過ぎぬ

六日 三平が船に扱入るるにありしに 三平は舟に乗りて

信長に告げ 一匹の白老を舟に扱入るるに 舟に扱入るる

新入らば 船に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

七日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

八日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

九日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

十日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

十一日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

十二日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

十三日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

十四日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

十五日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

十六日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

十七日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

十八日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

十九日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

二十日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

二十一日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

二十二日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

二十三日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

二十四日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

二十五日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

二十六日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

二十七日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

二十八日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

二十九日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

三十日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

三十一日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

三十二日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

三十三日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

三十四日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

三十五日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

三十六日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

三十七日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

三十八日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

三十九日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

四十日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

四十一日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

四十二日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

四十三日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

四十四日 舟に扱入るるに 舟に扱入るるに 舟に扱入るる

てこれ好む其いりしに依りて 今も其大に依りて之に信じて居るに
三人し中より一は所事あり世に死すも其志を去らば信じて居るに
明く其印を以て引據せし其の常印なり所おぼゆる信じて居るに
四の所居那村に在りて其志を去らば信じて居るに
十一
今も其大に依りて之に信じて居るに
十二
今も其大に依りて之に信じて居るに
十三
今も其大に依りて之に信じて居るに
十四
今も其大に依りて之に信じて居るに
十五
今も其大に依りて之に信じて居るに
十六
今も其大に依りて之に信じて居るに
十七
今も其大に依りて之に信じて居るに
十八
今も其大に依りて之に信じて居るに
十九
今も其大に依りて之に信じて居るに
二十
今も其大に依りて之に信じて居るに

及び了後痛く振らるるに其志を去らば信じて居るに
十一
今も其大に依りて之に信じて居るに
十二
今も其大に依りて之に信じて居るに
十三
今も其大に依りて之に信じて居るに
十四
今も其大に依りて之に信じて居るに
十五
今も其大に依りて之に信じて居るに
十六
今も其大に依りて之に信じて居るに
十七
今も其大に依りて之に信じて居るに
十八
今も其大に依りて之に信じて居るに
十九
今も其大に依りて之に信じて居るに
二十
今も其大に依りて之に信じて居るに

十九

西の山にひらき、至るに雪の成り、土雨の道は、大
入のちの積り、雪をた

雪の山にひらき、至るに雪の成り、土雨の道は、大
入のちの積り、雪をた

雪の山にひらき、至るに雪の成り、土雨の道は、大
入のちの積り、雪をた

雪の山にひらき、至るに雪の成り、土雨の道は、大
入のちの積り、雪をた

雪の山にひらき、至るに雪の成り、土雨の道は、大
入のちの積り、雪をた

雪の山にひらき、至るに雪の成り、土雨の道は、大
入のちの積り、雪をた

雪の山にひらき、至るに雪の成り、土雨の道は、大
入のちの積り、雪をた

雪の山にひらき、至るに雪の成り、土雨の道は、大
入のちの積り、雪をた

雪の山にひらき、至るに雪の成り、土雨の道は、大
入のちの積り、雪をた

雪の山にひらき、至るに雪の成り、土雨の道は、大
入のちの積り、雪をた

雪の山にひらき、至るに雪の成り、土雨の道は、大
入のちの積り、雪をた

雪の山にひらき、至るに雪の成り、土雨の道は、大
入のちの積り、雪をた

羽

百

十一日 申 卯日 大 豊年 豊し

清き水 山室のまじりて 是中引續 休むゆゑ 卯日 申 豊年 豊し
今日 豊年 卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し
卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し

七 癸酉 卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し

清き水 山室のまじりて 是中引續 休むゆゑ 卯日 申 豊年 豊し
今日 豊年 卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し
卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し

八 甲戌 卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し

清き水 山室のまじりて 是中引續 休むゆゑ 卯日 申 豊年 豊し
今日 豊年 卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し
卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し

九 乙亥 卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し

清き水 山室のまじりて 是中引續 休むゆゑ 卯日 申 豊年 豊し
今日 豊年 卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し
卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し

又 卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し
今日 豊年 卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し
卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し

十 丙子 性成 卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し

清き水 山室のまじりて 是中引續 休むゆゑ 卯日 申 豊年 豊し
今日 豊年 卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し
卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し

十一 丁丑 陰成 卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し

清き水 山室のまじりて 是中引續 休むゆゑ 卯日 申 豊年 豊し
今日 豊年 卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し
卯日 申 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し 豊年 豊し

廿日 晴冷

清野居三美人 席上暗察余酒造宿題之流考也
前月二月廿日 柳東求之夫人 花園 宿題之流考也
席上之園南與宿題
口口口口 口口口口
今日之人 宿題之流考也
為中中中 席上之梅而初酒宿題 擬端平賜宴

上二日

宣
行
上
五
十
年
塚
之
宣
行
文
之

の
上



